

いのちの大切さについて考える日

毎年5月8日は「命の大切さについて考える日」として、市内の全小中学校で命やいじめについて考える行事や授業を行っています。目的は、いじめを絶対に許さないための風土をつくり、一人一人が何をすべきかを考え、行動する児童を育てること、自分や他の人の命を大切にするとともにそれらを守るために何をすべきか考え行動する児童を育てることです。廿日市市が「命の大切さについて考える日」を設けたのは、平成25年に市内の中学生がいじめを誘因として自ら命を絶つというとても悲しい出来事があり、二度とそのような出来事を起こしてはいけないという思いからです。

今年度は、5月8日（水）に全校で体育館に集まって命の大切さについて考える集会を行いました。校長先生から、いじめはどんな理由があっても絶対に許されないこと、自分や周りの人を大切にすること、困ったときは大人に頼ることといった話がありました。各学級で道徳の授業で命の大切さについて学習したり、運営委員会が考えたスローガン「やさしさの太陽で照らし、笑顔あふれる宮内っ子」を基に各学級がスローガンを考えたりしました。この取組が、この日だけの取組にならないように、今後も各学級でスローガンを振り返りながら、全て子ども達が自分らしく安心して過ごすことができる学級・学校を目指していきたいと思っています。



【いじめをなくすために何ができるか、考えるための3つのヒント】

- 1 いじめは絶対に許さないこと
- 2 自分や他の人の命を大切にすること
- 3 1人でかかえ込まず、相談すること



縦割り班掃除がスタートして1か月…

4月10日（水）の縦割り班掃除のオリエンテーションでは、リーダーの司会のもと、掃除場所や掃除の仕方を行いました。5月1日（水）からは、1年生も加わって、それぞれの担当場所をきれいにしています。月、水、金曜日の13：15～13：30の15分間、「黙って掃除、隅々まで掃除、時間いっぱい掃除」に取り組んでいます。1年生を迎えに行ったり、掃除のやり方をやさしく教えたりと、頼もしい高学年の姿が見られています。



ありがとうございます ～学習支援が本格的にスタート～

4月は1年生の下校見守りでお世話になった支援ですが、5月より、本格的に学習支援が始まっています。毎週木曜日の朝の時間には、読み聞かせボランティアぐるんぱのみなさん



による読み聞かせが始まりました。5月7日（火）には、1年生生活科のアサガオ植えの支援をしていただきました。3年生の毛筆支援、2年生の生活科野菜の苗植え支援、1年生の交通安全教室の支援にも入っていただきます。引き続きよろしく申し上げます。

特別活動ってどんな教育活動なの？

特別活動は、望ましい集団活動を通して子ども達の自治的な能力や自主的な態度を育て学力向上の基盤に必要な望ましい人間活動を築くものであり、子ども達の成長に欠かせない教育活動です。望ましい教育活動とは、○活動の目標をみんなで作る、○目標達成の方法を話し合っ決めて、○役割分担をし、協力して取り組む といった活動です。学級活動、児童会活動（代表委員会や委員会活動）、クラブ活動、学校行事を通して子ども達が豊かに成長することをめざします。



5月の委員会活動の様子です

宮内小学校ホームページ「宮内小日記」随時更新中です。子ども達の日々の様子をアップしています。ぜひご覧ください。

宮内小ホームページ URL <http://hatsukaichi-edu.jp/miyauchi-e/>